

安心で正確な検査・治療を提供するための

放射線部の取り組み



放射線部スタッフ座談会

第三病院の放射線部で行われる治療内容や安全性への取り組み、患者さんへの働きかけなどについて、スタッフの方たちにうかがいました。

患者さんへの負担が少ないIVR治療

—医療における放射線というと、X線(レントゲン)やCT、MRIなどの検査や放射線治療などがよく知られています。

豊田 ここ数年は、放射線専門医によるIVRという治療を行う機会が増えてきました。まだなじみは少ないかもしれませんが、これまで手術が行われてきたような症例にも、IVR(インターベンショナルラジオロジー)が適用されてきています。

宗像 IVRとは日本語でいう「画像下治療」で、X線装置やCT、MRI、超音波

などの画像診断機器を用いて、患者さんの診断や治療を行うものです。血管からカテーテルで薬を投与したり、狭くなった血管を広げたり、逆に動脈瘤などができてしまったら血管を詰めたりする治療もあれば、血管を介さず体表から病変部位に針を持って行う治療もあります。

豊田 脳や心臓の血管に関する治療は、脳外科や循環器内科が担当しますが、それ以外の領域に関しては、各診療科からの依頼で放射線科が行います。

宗像 IVRのメリットは、何といっても体を傷つける侵襲(しんしゅう)性が低いことです。外科的な手術は、開

腹や開胸など体に大きな傷を開けなければなりませんし、全身麻酔が必要になることも多い。IVRであれば、体に数ミリ程度の小さな穴を通して体内にアプローチするので、非常に侵襲性が低く、入院期間も手術に比べると短期間で済むので、様々な面から患者さんの負担を抑えることができます。

少ない放射線量で最適な画像撮影を

—放射線というと、やはり被曝について気になります。

平川 医療被曝については、患者さん

にもよく質問されますが、当院は医療被曝低減施設に認定されており、患者さんにとって不利益のない放射線量で最適な画像を撮ることを心がけています。放射線量が多ければ、それだけきれいな画像が出ますが、ガイドラインに沿って、決められた線量以下で良い画像を出すというのが私たちに求められる技術であり、それを提供しています。

宗像 IVRについては、なるべく被曝が少ないように配慮して行っていますが、検査手技によっては、被曝量がある程度増えてしまうこともあります。その場合、治療のメリットと被曝のデメリットの双方を考え、あくまで患者さんの利益になることを前提に行っており、IVRの被曝が大きな問題になることは、まずありません。

検査中に不安やトラブルを看護師がサポート

—放射線の検査や治療を受ける患者さんに対して、気をつけていることはありますか。

荒木 放射線科の看護師は、検査や治療の際に、患者さんについて事前に外来や病棟から、アレルギーや副作用、台に乗れるかどうかなどの情報をとり、安全に検査を受けられるように準備をしています。これまで起きなかったから大丈夫ということではなく、特に造影剤を使うときは、毎回、副作用がないかを適宜確認することが必要です。また、同じ姿勢を保ち続ける必要のある検査や治療が多いため、検査の最中に声かけなどサポート

することも重要です。**平川** 画像を撮っているときに少しでも動いたり、呼吸をしたりしてしまうと、よく映らないので診断が難しくなってしまいます。

荒木 閉所恐怖症の患者さんの場合は、MRIなどでパニックになると検査が出来ません。検査室のほとんどは密室なので危険です。病棟から情報をもらうなどして、どうしたら安全に検査ができるか考え、技師に情報を伝え、前もって患者さんに検査室見学をしていただくこともあります。ほかにも検査中の細かいトラブルや放射線による皮膚障害などについても、看護師がすぐに対応できるようにしていますので、患者さんには、安心して検査や治療を受けていただけるように関わっています。



くすりの耳寄り情報

百薬の聴

糖尿病治療薬の副作用にご注意

糖尿病の主な治療薬の一つである「メトホルミン」は、注意すべき副作用として乳酸アシドーシスがあります。特に造影剤検査によって乳酸アシドーシスを起こす危険性

* 乳酸アシドーシス…血液中の乳酸が増えすぎた状態。吐き気や腹痛、脱水などを伴う。

があるので、検査の前後2日間はお休みする必要があります。造影剤検査の前には、必ず医療スタッフにメトホルミンを使っていることを事前に伝えましょう。

薬剤部 薬剤師 室伏 孔樹

この情報 ウソorホント?

Q 卵アレルギーの子は、インフルエンザワクチンを受けられない?

A 日本で作られているインフルエンザワクチンは、鶏卵から作られています。しかし、ワクチンに含まれる鶏卵成分は、ごくわずか(数ng/ml)なので、血液検査で卵アレルギーの反応が陽性でも、卵を少量でも食べられるお子さん

は、大きな副反応の心配はなくワクチンを受けることができます。また、卵を食べて重い症状が出たことあるお子さんでも、注意しながら受けることができますが、判断に迷うときは、アレルギー専門医にご相談ください。

小児科 診療医員 青田 明子

医療最前線

頭部外傷 ~正確な頭部外傷の診断と適切な治療のために~

救急部診療部長
大谷 圭



昨年行われたラグビーW杯でも見られましたが、近年、スポーツの現場では頭部外傷が厳しくチェックされています。これは頭部外傷を繰り返すことで重症化することがあるためです。

アメリカンフットボールを題材にした「Concussion(コンカッション)」という映画は記憶に新しいところですが、救急外来でも頭部外傷による受診は非常に多く、年齢は乳幼児から高齢者まで、原因もスポーツや転倒などと様々です。頭部外傷については、救急医は診療ガイドラインに基づき、以下のような点に注意して診察を行なっていますので、ぜひ参考にしてください。

1) 先に意識消失が起きたことが原因で頭部を打撲した場合には、救急病院で、意識消失の診察を受ける必要があります。

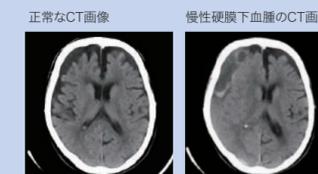
2) 受傷後から頭痛、めまい、吐き気、ふ

らつき、意識の低下などの症状があるときは(スポーツ外傷の場合は直ちに退場して)、すぐに病院を受診してください。症状が急速に悪化している場合は救急車での受診をおすすめします。

3) 逆に、上記の症状がなく、けがをしたときに「意識を失っていない」または「頭を打った一瞬だけ記憶がない」というときは、あまり大きな問題につながることはありません。

4) 脳しんとうと診断された場合は、その症状と状況により、当面の間は激しい運動を控え、脳神経外科の外来で経過をみる必要があります。

5) 特に高齢の方で、まれに受傷1~3か月後に頭蓋内に血液が貯留(慢性硬膜下出血)して、頭痛、意識・反応性の低下や麻痺などの症状が見られることがあります。けがをしてから日数が経っていても、上記の症状が出現した場合には脳神経外科を受診してください。



第3の星

今回は
看護師・小児アレルギーエデュケーター **入澤真奈美さん**

アレルギーの患者さんと保護者を支える専門家
小児アレルギーエデュケーター(PAE)は、小児臨床アレルギー学会が認定するアレルギーの専門家のこと。医師の治療に沿って、アレルギーの患者さんをサポートするのが仕事ですが、その内容は、病態の説明やアレルギーについての知識に始まり、アトピー性皮膚炎の方には体の洗い方や軟膏の塗り方、ダニアレルギーの方には効果的なお掃除のしかたなど多岐に渡ります。「家でのスキンケアの指導を行った患者さんの肌が、見違えるようにきれいになったときなどは、こちらもうれしいですね」。

アレルギーについては、いろいろな情報が飛び交って保護者の方が不安になったり迷ったりすることも多いそう。「患者さんの不安や疑問を聞きながら、納得した上で治療を受けていただけるようにするのが私たちの仕事です」



公開健康セミナー

皆様からの関心の高いトピックについて、専門医がていねいにお話しいたします。ご参加希望の方は、当日、直接会場へお越しください。(先着200名・事前申込不要・受講無料)

糖尿病と高血圧

日時:2020年1月11日
14:30~15:30
会場:看護学科1階 大講堂



講師:
原 興一郎
(糖尿・代謝・内分泌内科)

【講師からのメッセージ】
糖尿病の患者さんは高血圧を発症することが多く、また高血圧の患者さんも糖尿病を発症することが多いことが知られています。糖尿病と高血圧を併発し、コントロールが悪い状態が続くと、動脈硬化が進行し、心筋梗塞や脳卒中などのリスクが格段に高まるとされており、両者の適切な管理が重要です。しかし、少々血糖値もしくは血圧が高くても症状が出ないため、おろそかになりやすいことも事実です。今回は2019年に改訂された高血圧のガイドラインを基に、血圧の目標値やその目標を達成するために必要な日常生活の注意点や治療法などをお話したいと思います。



旬のひと皿

かぼちゃはβカロテンやビタミンE、カリウムなどの栄養成分や、食物繊維総量も多い緑黄色野菜。夏から秋が収穫時期ですが、とれてすぐは甘みが少ないため、収穫後にしばらく保存し、追熟を行ないます。お店に並ぶのは、晩秋から冬にかけて甘みが出て、食べごろになったもの。今回は、少しだけシャキシャキ感を残したきんぴら仕立てに。かぼちゃそのものの甘みが強いので、きんぴらにするとときは、唐辛子などをきかせると味が引き締まり、食べ飽きないおいしさになります。



今回の 2020 WINTER
食材



かぼちゃ

Recipe (2人分)

栄養量(2人分) エネルギー458kcal/たんぱく質8.1g/
脂質6.2g/炭水化物93.9g/食物繊維総量14.0g/食塩相当量2.0g

- かぼちゃ..... 1/4個
- 輪切り唐辛子..... 少々
- サラダ油..... 5~6cm分
- 調味料
- ★水..... 大さじ2
- ★砂糖..... 大さじ1/2
- ★みりん..... 大さじ1/2
- ★醤油..... 大さじ1/2
- ★塩..... 少々

かぼちゃのきんぴら

- ① かぼちゃはタネとワタを取り除き、5~6mmの厚さの棒状に切る。かぼちゃは切り進めると短くなっていくので、時計回りに少し回転させながら切っていく、できるだけ長い棒状になるようにすると食べやすいです。
- ② ★の調味料をすべて容器に合わせて、よく混ぜておく。
- ③ フライパンにサラダ油と輪切り唐辛子を入れて弱火で熱し、熱くなったらかぼちゃを加える。火を中火にし、1分半ほど炒める。
- ④ ②で合わせた調味料を加え、中火のまま2分ほど火にかけ、煮汁を煮詰めながらかぼちゃの芯まで火を通す。汁気がなくなったら完成。

レシピ作成・監修:第三病院栄養部監修 管理栄養士 友野 義晴

慈恵第三病院と患者さんをつなぐ情報誌

TOMONI

と も の に

2020 WINTER

vol. 8

特集

安心して正確な検査・治療を提供するための

放射線部の取り組み

医療最前線

TOPICS

冬の元気はかぼちやから
寒さで体調を崩しやすい季節は、ほっくりかぼちやの献立を。硬い皮に守られた たつぷりのうま味と栄養をいただきながら、ほっくり、しゃっきり。いろいろな歯ごたえを味わってはいかが。

患者さんの声にお答えします！

患者さんから寄せられたご質問やご要望をご紹介します、当院の取り組みについてご説明します。

VOICE 1

看護師さんが引いて歩くキャスターの中で、キーンキーンと異常音がするものがあります。多分油切れだと思えますが、点検してほしいです。

当院の取り組み

ご指摘いただきありがとうございました。確認したところ、病棟で使うワゴンの中にキャスターのすり減っているものがあり、交換いたしました。患者さんの療養環境に影響しないよう、今後も使用物品の整備・改善を行っていきます。



VOICE 2

学生さんのサマーコンサートでは、たいへん楽しい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。立派な看護師さんを目指してください。

当院の取り組み

当院では年に数回、患者さんやご家族の方を対象として、学生や教職員による院内コンサートを実施しております。事前に院内での告知も行っておりますので、お時間のある方はお気軽にお立ち寄りください。



東京慈恵会医科大学附属 第三病院

〒201-8601 東京都狛江市 和泉本町4丁目11-1

〈受付時間〉8:00-11:30 〈診療時間〉8:45~

〈休診日〉日曜・祝日、大学記念日(5/1、10月第2土曜)、年末年始(12/29~1/3)

〈お問い合わせ〉03-3480-1151(大代表)、<http://www.jikei.ac.jp/hospital/daisan/index.html>

発行:東京慈恵会医科大学附属第三病院広報委員会

作:第三病院栄養部

empathy based medicine

放射線部の新しい取組みを理解し
検査・治療を受けていただくために

院長 中村 敬



皆様、明けましておめでとうございます。

2020年の年頭にあたり、当院情報誌「TOMONI」第8号をお届けします。

本誌は「共感と思いやりにもとづく医療」を推進する当院の取組みや最新の診療情報を皆様にお知らせする手立てとして2016年に発刊以来、ご好評をいただいております。



今号では放射線部の活動について特集しました。放射線部ではレントゲン、CT、MRIなどの画像を用いた診断やアイソトープ検査、がんなどの放射線治療を実施しています。当院で診療を受けられているほとんどの患者さんにとって関わりの深い部門だといえましょう。

この特集を通して、放射線部のIVRをはじめとした日頃の取組みを紹介させていただきますので、ぜひ一読ください。

第三病院における放射線部の役割

放射線部診療部長 豊田 圭子

放射線部は、皆さんがよくご存じのレントゲンやCT、MRIをはじめ、乳がん検査での胸部単純撮影やマンモグラフィ(乳房撮影)など、体内の撮影に関することを行っており、当院で診療を受けられる方は、必ず一度は利用されているところといつてよいでしょう。

この画像診断部門のほかに、アイソトープ検査などを行う核医学部門、がん治療などに代表される放射線治療部門があります。診療科の対象は全ての領域にまたがるため、各診療科と連携をはかり、絶えず新しい知識を取り込みながら検査・診療を行っています。

近年では、医療技術や機器の発展により、放射線専門医によるIVR(インターベンショナルラジオロジー)が行われることも多くなりました。今回の特集では、このIVRを中心に、放射線部の各スタッフの取組みなどについてご紹介いたします。患者さん方が放射線医療への理解を深め、安心して検査・治療を受けていただければ幸いです。



The Jikei University